

学生の修学、進路選択及び心身の健康等に関する支援

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>本学の学修支援体制を支えるものとして、「チューター教員」「アカデミックアドバイザー教員」「学生支援センター 学修支援部門」が挙げられる。</p> <p>チューター教員は、学修や学生生活に関する全ての相談に対応する教員である。</p> <p>アカデミックアドバイザー教員は、教務部長及び学生部長がその役割を担っており、主に、単位修得状況から生じる学修や生活面に関する支援や、チューター教員から特別な指導や支援の依頼がなされた学生への支援等を行っている。</p> <p>留年となった学生に対しては保護者を交えた面談を行い、安易に退学に繋がらないよう、彼らの今後の学修や学生生活に対する不安を聴取し、個々に応じた支援を行っている。休学する学生に対しては、休学中に大学から完全に離れてしまうことがないように、定期的に学修支援や面談を行っている。講義の欠席が目立つ学生や学業不振学生に関しては、早期に面談を行い、留年や学業不振へつながることのないよう、チューター教員や学生支援センター学修支援部門により、個人に合わせた学修指導を行っている。</p> <p>「学生支援センター」の学修支援部門は、学生の主体的・能動的学修姿勢を育成、学年横断型グループワーク学修会の確立を支援するなど、学修意欲及び学修理解の向上、学修コミュニティ形成の醸成を目指す部門として活動しており、定期的な学修会、リメディアル教育、面談等を実施している。特に、留年生や成績不振者、授業態度等が気になりな学生の個別の状況を確認のうえ、学生に合わせた支援を提案し、チューター教員とも連携しながら支援が途切れないようにしている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>進路選択に係る個別支援は、「チューター教員」及び「学生支援センターキャリア支援部門」により行っている。相談対応や助言、就職活動支援（履歴書・小論文添削、面接練習等）は、チューター教員及びキャリア支援部門員により、個々の希望や状況に応じ、個別にサポートしている。</p> <p>全学的支援としては、大学内の進路支援組織である「学生委員会」が中心となり、キャリア支援講座等を企画運営している。昨年度は、「進路ガイダンス、看護師・保健師・助産師としての働き方、教員のキャリアを聞いてみよう、就活スタート講座、自己分析講座、履歴書・小論文講座」等を実施し、進路選択の一助とした。また、「聖マリア病院説明会（先輩看護師の講話）」や「ブース別聖マリア病院説明会」を実施、身近なキャリアモデルと触れ、自身のキャリアプランを考える機会としている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>学生が安全で充実した学生生活を送ることができるよう、心身の健康を保つための支援に取り組んでいる。通常の学生の体調不良やケガは、医師・保健師・看護師の資格を有する健康管理センター教職員が対応し、受診が必要な場合は、学校医により医療機関の紹介を行っている。定期健康診断後のフォローについては、健康診断結果データに基づき、健康管理センターによるフォローアップを実施している。</p> <p>学生の状況の把握と学生生活支援のため、担当教員(チューター)により、定期的な面談を行っている。学生支援の専門組織である、学生支援センター各部門（学修、生活、キャリア、インクルーシブ教育支援）では、チューター教員と連携しながら、個々の学生の状態や希望に応じた支援を行っている。</p> <p>後期開講後に、全学生を対象に「学生アンケート調査」を実施している。「学修、生活、メンタル、経済状況、アルバイト」について調査し、結果に基づき、チューター面談を行っている。気になりな回答のあった学生に対しては、学生の状態にあわせ、継続的に支援している。</p> <p>心理的な支援のひとつとして、毎週1回、「学生相談室」を開室し、非常勤のカウンセラー（公認心理士・臨床心理士）による心身の健康、対人関係等の相談対応を行っている。また、学生の心身の状態や希望に応じ、スクールカウンセラー（公認心理士・臨床心理士）よ</p>

り、医療機関への紹介を行い、医療機関とも連携しながら支援を行っている。
また、ハラスメント相談窓口を設け、安心して相談できる体制を整備している。